

令和5年度 第3回可美小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年12月14日（木）10：00～12:00
- 2 開催場所 可美小学校 会議室
- 3 出席委員 須佐勝己会長 大畑尉智子副会長 内山和博 中村精志  
河合さくら（学校支援CD兼務） 高柳桃子（学校支援CD兼務）
- 4 欠席委員 小野田哲也 田中亜希子
- 5 オブザーバー 小野田康弘（浜松市議会議員） 土屋明久（可美協働センター長）
- 6 学 校 中村孝夫（校長） 夏目聡美（教頭） 藤井光広（主幹教諭）  
長谷川明美（CS担当教諭） 河合昭子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 河合昭子
- 10 開催要件の確認 司会の夏目教頭から、委員総数8名のうち6名出席しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- 11 議長の選出 本日の議長は須佐会長 全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項 (1) 学校運営について  
(2) 学校運営に必要な支援について
- 13 会議記録  
(1) 学校運営について
  - ① 全国学力・学習状況調査を振り返って、藤井主幹より説明があった。
    - ア 学力調査について
      - ・文章を読んで理解する力をつける必要がある。算数の図形領域では情報を結びつけて考えることや、本物を手に取ってみることも大切にしたい。
    - イ 学習状況調査について
      - ・子供たちの学習習慣、学校生活、学習状況に対する意識調査について説明があった  
可美の子が、21世紀をたくましく生き抜いていける子に育てていきたい。
  - ② 情報モラル、タブレットの持ち帰り、キャリア教育での人材活用について資料に基づき夏目教頭より説明があった。
    - ア 情報モラルについて
      - ・年間5回 22日を情報モラルの日として、水曜日の朝のかがやきタイムの時間、年間計画表に従ってタブレット情報モラル指導を全校で行っている。
    - イ タブレットの持ち帰りについて
      - ・10月よりタブレットの持ち帰りを週1回始めた。
    - ウ キャリア教育での人材活用について
      - ・夢をはぐくむ本物との出会い、社会とのつながりを実感する人材活用について
- (2) 学校運営に必要な支援について
  - ① 家庭科のミシンボランティア

長谷川教諭より、ミシンボランティアに来ていただくことにより、個への支援が充実したとの報告があった。それについて以下の発言があった。

- ボランティアがいなかった時はどうしていたのだろうかと思う。(河合委員)
- 困ってなさそうな子も実は困っていたりして、支援の必要性を感じた。(高柳委員)
- 今はその学年の親がボランティアだが、来年度もその方々が残ってくれたら、ボランティアが持続可能となる。(須佐会長)
- ② 可美の子供たちの見守りについて
  - 私は佐鳴湖を走っているが、学区内を走ると見守りになるのではないか。(須佐会長)
  - 月に1度だが、あいさつ運動のときは、見守りになる。(大畑副会長)
  - 歩いている時に声を掛けても、誰かわかないので、素通りしていく。(中村委員)
  - 交通安全週間等朝や夕方、夜にあいさつに立つが、時間を子供たちの登下校の時間に合わせてはどうか。(内山委員)
    - 子供見守りボランティアを市で募集している。自治会、民生委員、交通安全協会が見守り活動をそれぞれにしてくださっているが、横の連携をして、一つの活動に出来ればと考えている。(校長より)
  - 交通事故を防ぐために、道路に点線をつけて道幅を狭く見せて、スピードダウンするよう促す…など出来ることをうまくやっていく。(小野田オブザーバー)
  - 五島地区では、ながら見守り隊(子供の登下校時間にあわせて、家の周りの掃除、散歩をして子供たちを見守る)という活動がある。(土屋オブザーバー)
    - 校長より「浜松市子供安全ネットワーク推進事業」について紹介・説明があった。「反射材つきタスキや名札(子ども見守り中と書いてある)」をつけて、散歩、庭いじり買い物等無理のない範囲で子供たちを見守る。車両用マグネット「子ども見守り中」もある。新しくネットワークを作るのではなく、情報を共有していきたいと思っている。見守り隊…地域全体で子供を見守る。メール登録をして頂き、情報の一斉メールができればいいと思う。
  - 子供安全ネットワーク事業について、皆に呼び掛けたい。チラシを配布したい。(大畑副会長)
  - 高齢者はメールを見ない人が多いので、どのように情報を伝達するのが良いか。(中村委員)
    - 見守り隊の横のつながりをどのようにするか。次回への課題としたい。来年度からできればと思う。(校長より)
  - どのように周知するのがよいかを考えたい。(須佐会長)

## 14 連絡

- (1) 次回は令和6年2月6日(火)10:00~12:00 会議室
- (2) 次回の議長は大畑副会長
- (3) 次回の熟議内容の確認
- (4) 学校運営協議会自己評価表の提出の依頼 提出期限 1月10日(火)